

令和4年度 大学院人文科学府 修士課程 第2期入学試験問題  
(日本語)

解答は、解答用紙に書くこと。その際、「問1-1」などと記し、どの問いに対する解答かを明示すること。

著作権保護のため、この Web 公開版では問題文を削除した。  
引用箇所は以下のとおりである。

福永由佳 (2003). 「暮らしに生きることば：私はいくつ？」国語研広報誌『国語研の窓』, 17, 1.

問1-1 下線部 (1)-(5)の漢字の読み方をひらがなで書き、その表現の意味を日本語で説明してください。(25点)

問1-2 (A)に入る表現として適切なものを1つ選びなさい。

- a. だからといって
- b. しかし
- c. それならば

(5点)

問1-3 (B)に入る表現として適切なものを1つ選びなさい。

- a. よって
- b. しかし
- c. すると

(5点)

問1-4 (C)に入る表現として適切ではないものを1つ選びなさい。

- a. ところで
- b. ちなみに
- c. 逆に

(5点)

問1-5 波線部分について、どういうことか日本語で簡潔に説明しなさい。

(20点)

問2. 上記の文章も踏まえつつ、話し相手に応じて敬語と「タメ語」の使い分けを行うという点について、自身の日本語学習(ないし運用)の経験から難しいと感じたことを書きなさい。

(40点)